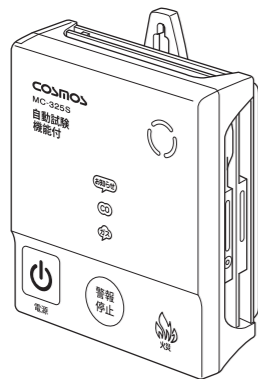


家庭用
住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

型式名 MC-325S

施工説明書【施工される方へ】

お客さまにこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、この施工説明書をよくお読みいただき、指定された取り付けを行ってください。



1 お願いとご注意

警報器を正しく設置していただくため、また、あなたやお客さまへの危害や財産への損害を未然に防止するために、この施工説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 作業を誤った場合に、取付作業員および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 作業を誤った場合に、取付作業員および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

2 施工される方へのお願い

- 取付終了後に施工説明書に従って「6-1 自動初期点検機能の確認」、および必要に応じて「6-2 作動点検」を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。
- 必要に応じて、「3-1 警報器の説明」「3-2 お客さまへの周知事項」についてお客さまに説明を行い、ご理解を得てください。
- 警報器を梱包から出された状態で持ち運びまたは保管しないでください。

注意

警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。故障や誤作動の原因になります。

3 お客さまへの説明について

3-1 警報器の説明

- ①警報動作および自動初期点検機能の結果の説明。作動点検をした場合は、作動点検の結果の説明。
- ②取扱説明書を必ず読んでいただくこと、取扱説明書を保管していただくことをお願い。
- ③取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 1. 火災警報の内容（赤スライド（火災警報）ランプ点灯、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
 2. ガス警報の内容（赤（ガス警報）ランプ点滅、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
 3. CO警報の内容（黄（CO警報）ランプ点滅、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
 4. ガス警報、CO警報の同時警報の内容（赤（ガス警報）ランプと黄（CO警報）ランプの点滅、音声合成音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
 5. 部屋の外にいて、ガス警報、CO警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
 6. 電池切れ警報、故障警報の内容と処置の説明。
 7. 誤報が発生する原因と処置の説明。
 8. スイッチ操作の説明。
 - 定期点検
 - 警報音停止
 - 有効期限切れ音声機能

3-2 お客さまへの周知事項

- ①保証期間5年。
- ②警報器の有効期限のお知らせ。（本体に貼付の有効期限ラベルに表示）
- ③保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ④警報器の移設禁止。（移設依頼時の連絡先）
- ⑤警報器の分解禁止。
- ⑥引越時の処置。
- ⑦故障・異常時の連絡先。

4 取り付け前の確認

4-1 警報器の確認

取り付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用であり、本体に異常のないことを確認してください。

4-2 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体…1個	取扱説明書（保証書付）…1枚	施工説明書〔本書〕…1枚
木ねじ 長さ16mm…1本	取付フック…1個	ピン長さ20mm…3本

4-3 取付位置の確認

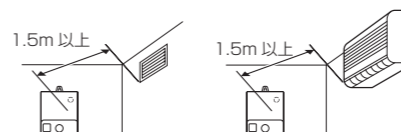
設置場所の選定については、お客さまとよく相談して決めてください。

注意

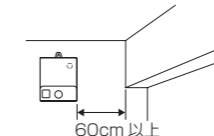
正しい取付位置に取り付けてください。取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

正しい取付場所について

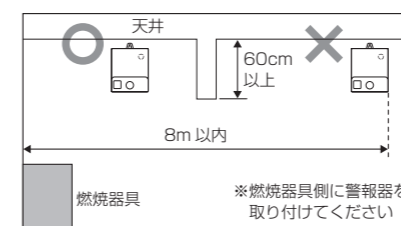
- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源表示「**ON**」の確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓）から、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が20～30cm以内に取り付けてください。
- 換気口など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。



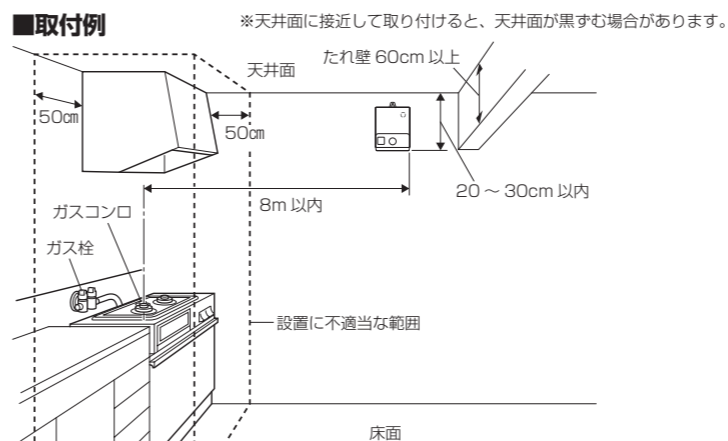
- たれ壁やはりから60cm以上離してください。



- 天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



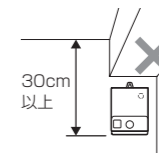
取付例



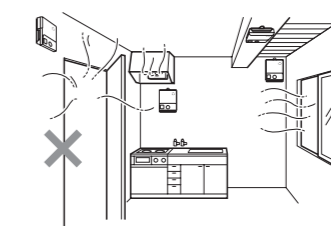
取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

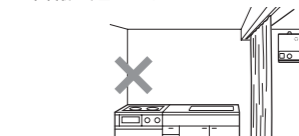
- レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。アルコール等で警報することがあります。
- 換気扇、給気口、ドア付近など通風の悪い場所。
- すき間風の入る場所。
- 30cm以上（警報器含）のたれ壁などの下。警報が遅れたり、検知できません。



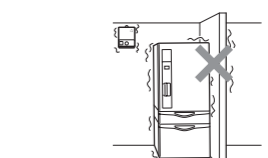
- たれ壁60cm以上で区切られている場所。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。警報が遅れたり、検知できません。



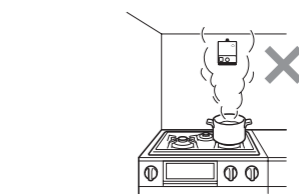
- カーテンウォールなどで仕切られた場所。警報が遅れます。



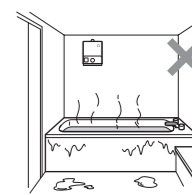
- 振動、衝撃の激しい場所。センサの故障の原因になります。



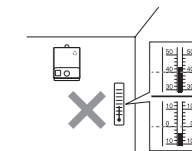
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



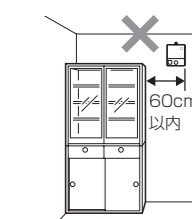
- 浴室内、水のかかる場所、水滴のつく場所。電氣的故障の原因になります。



- 温度が0～+40°Cの範囲をこえる場所。警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。



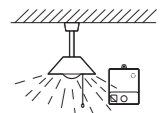
- 食器棚などから60cm以内の場所。



- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所。



- 照明器具の近く。（可能な限り離す）



- 屋外。屋外では使用できません。

- 業務用・工業用。家庭用です。業務用・工業用ではありません。

- ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。警報が遅れることがあります。



